

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	03 08 01	中期総合計画主要施策番号	—			担当課	部・課	総務部広報県民課	
事業名	広報事業						内線	2263	
							E-mail	koho@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S24 ~	根拠法令等	長野県広報広聴活動運営要領						
実施方法	県が直接実施（一部委託実施）							国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的（必要性）	県の施策やお知らせ等を県民を始めとする多くの皆様に伝達することにより、県民生活の向上に寄与するとともに、開かれた県政の推進を図る。				
	対象	県民				
	目指すべき姿	県の施策やお知らせ等を県民を始めとする多くの皆様に伝達することにより、県民生活の向上に寄与するとともに、開かれた県政の推進を図る。				
	事業内容	様々な媒体を活用して広報活動を行う。 1 印刷媒体（「広報ながのけん」の新聞掲載、冊子配布） 4 その他媒体（CATV、有線放送） 2 電波媒体（テレビ・ラジオ広報番組、スポット） 5 会見場の運営 3 インターネット 6 地方行財政等の情報収集				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳	
	最終予算額 (A)		千円	164,072	178,736	180,012	報酬	1,866千円
	決 算 額 (B)		千円	161,889	172,362		共済費	280千円
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	159,524	136,847	139,556	旅 費	610千円
	概 算 人件費	従事する職員数	人	6.00	6.00	6.00	需用費	18,553千円
		概算人件費 (C)	千円	49,902	49,548	49,548	役務費	110,803千円
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	211,791	221,910	229,560	委託料	35,464千円	
						使用料及び賃借料	4,781千円	
						負担金	2千円	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績	
	新聞「広報ながのけん」 冊子「広報誌ながのけん」 (活)		年回・紙 (15段×8、7段×4)	年12回・14紙	年6回・14紙 年2回・広報誌	年5回・14紙、年2回・広報誌、年5回・WEB版		
	テレビスポット(活)		年回・局	年155回・4局	年153回・4局	年153回・4局	CATV広報番組 年8本・44局	
	県ホームページ(成)		月平均 アクセス数	790,215	828,985			
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 「広報ながのけん」、「広報誌ながのけん」A4換算コスト		千円/枚	2,139.2	1,931.8	1,086.7	・効率指標算出式 「広報ながのけん」、「広報誌ながのけん」関係事業費 / 掲載紙面(A4換算 15段=4枚、7段=2枚、広報誌=16枚、WEB版=6枚)	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	県の施策やお知らせ等の情報を様々な媒体を使い、適時的確に県民に提供する。			・新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、CATV、有線放送などの媒体を使用し、適時的確な情報提供を行った。 ・月平均HPアクセス数が828,985件と、多くの県民に情報提供を行った。			b 期待どおり

  

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	テレビ広報では視聴率と制作費のバランスが取れた時間枠を選定したり、「広報ながのけん」では一定の購読者数をもつ県内普通日刊紙へ掲載するなど、効率性の確保に努めた。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	県の施策、お知らせ等を各種広報媒体を通じて、引き続き、適時的確に県民を始めとする多くの皆様に伝達するよう努めるとともに、県からの情報をより効果的に伝える広報のあり方について考えていく必要がある。				
	特記事項					